

歩いて暮らせるまちづくり・コンパクトシティ化を

井之川博幸議員は9月議会一般質問で、「街なか居住・歩いて暮らせるまちづくり・コンパクトシティ化」を市長に求めました。

市長は、「中心市街地土地区画整理事業は、土地の有効利用、高度利用の促進、商業、交流等の都市機能の充実を図るとともに居住環境の改善を進めている。権利者等と協議しながら街なか居住の推進を図ってまいりたい」と答えました。

井之川議員は、中心市街地土地区画整理事業地区だけでなく、その周辺の旧沼田市街地を含めた取り組みを求めました。



井之川博幸市議

市営住宅利用者の高齢化などに合わせた改修の制度化を



市営住宅玄関前の階段横に設置された金属製の手すり

井之川議員は、市営住宅の利用者が高齢化などで身体が不自由になる場合が増えており、段差の改修や手すりの取り付けなどの改修は、現在、利用者が行い、退去時には元に戻すとなっているが、現状を考え、市が制度として実施するよう求めました。

市長は、「今後どのような対応ができるか、研究してまいりたい」と答えました。

豚コレラ感染防止対策で国に意見書提出・沼田市議会

2018年9月9日に岐阜市の養豚場において、国内で26年ぶりの「豚コレラ」を発生して以来、本年9月13日には秩父市の養豚場、14日には塩尻市の長野県畜産試験場、17日には長野県下伊那郡において患畜が確認されました。よって、国会、政府においては、「飼養豚へのワクチン接種を全国一律に早期実施すること」を求める意見書を国へ提出しました。

新武道場用地購入費に5,490万円

東原庁舎跡地を県から取得

沼田公園内の武道場などの老朽化に伴って、かねてから計画されていた新武道場の建設地である東原庁舎跡地

(県有地)の購入費及び設計書等作成業務委託料あわせて5,898万円が9月議会の補正予算で決定しました。

新武道場は、保健福祉センターの北側に隣接し、南側の市民体育館とともに沼田市の屋内競技の核施設となります。鉄骨造2階建て、1階床面積は1,100㎡で、剣道・空手格技場、トレーニングルーム(卓球)、ウエイトリフティング場などができます。2階床面積は875㎡で、柔道格技場、トレーニングルーム、談話室・ホールなどができます。

建設工事など予定総額は、7億5,700万円(合併特例債6億3,930万円、交付金8,400万3,000円、一般財源3,369万7,000円)です。2020年度中にも完成予定です。



沼田公園内の武道場



取り壊される東原庁舎

9月議会で同意された新委員のご紹介

沼田市教育委員、人権擁護委員の中で、それぞれ任期満了の方がいるので、新教育委員に高橋昭紀氏、新人権擁護委員に小林壽子さんが提案され、全会一致で同意されました。

2019年9月29日 No.942

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料